

傍聴席

議会を傍聴して

松橋 亜香里

(日本赤十字秋田看護大学 3年)

以前、私たちは仙北市の地区踏査をした際、住民の方から仙北市に対する要望や意見を聞きました。その時、住民の方々が抱いている思いを行政に反映させるために、議会はどのような役割を果たしているのかについて疑問を持ちました。

実際に議会を傍聴させていたとき、市議会議員の方々は、住民の生活を改善させるため

に、住民の要望や意見を話題として取り上げて、市長や職員の方々と深い議論を行っていました。さらに、住民の方々も、自らの意見が取り上げられているかを確認するために、議会傍聴に参加しており、地域の生活について積極的に考えていることが伝わってきました。

このことから、住民の声を行政に反映させ、仙北市の暮らしについてより良いものを考えていく場として議会があることで、住みやすい町づくりを行うことができると改めて学ぶことができました。今回の学びを今後の実習で生かしていきたいです。

悪循環を質せ^{ただ}

藤澤角郎(角館町)

好循環は好循環を悪循環は悪循環を生み易いといわれる。

一般論としてよく聞くが好循環は悪循環へは容易だが逆は容易ではないと理解している。

これを論拠に仙北市の現状を考えると合併時に遡る。合併協議会の有り様に悪循環の根源があり耳を敬(おそ)てる。そのろる市民も議会も気づいている様子が伺える。そこでダラリの法則から見ると①合併の主旨である行財政改革の進捗②新市の名称③新市庁舎の立地等に代表される事柄が浮かんできます。これらは誰もが知りたいと思う素朴な市民感情

である。

行政を質す普通の努めが必要で議会は積極的に調整役を市民の代表役として行ってゆく責任がある。

すなわち悪循環を好循環に変えてゆくことの役割を持ち、論戦を重ねる中で北仙北の正しい方向を示し将来の展望を期待したい。

議会を傍聴し空しさを覚えるのは質疑の内容に論拠が乏しく学習不足の感が否めず残念である。質問の為の質問や答弁のための答弁にならないように望みたい。議員数削減や報酬削減については一定の評価をするもその手段の目的化は非常に残念である。

控室

大津市の事件以来、クローブアップされているいじめ問題。この仙北市でも、解決した事案はあるにせよ、起きているのが実際のところである。

改めて「いじめ」の意味を辞書で調べてみた。いじめめる：弱い者を苦しめたり困らせたりする。

世の中には強い者もいれば弱い者もいる。強い者とは、人としてしっかりとした気持ちを持ち、あらゆる面で自身がともなっていないければならないと私は考える。しかし昨

今の強い者は、多様な群衆の中で中身を伴わないままに権力を握り、自らの面子を保つために行動をとり、弱い者を苦しめているように感じる。このことは子供の世界でも起こってしまっている。「いじめ」は私たち大人も間接的に原因を作ってしまったように思うに思えてならない。

さいながらも勇気を出してSOSを発している。いじめを発見した人も同様である。そのSOSを私たちは見逃してはならない。いじめている側の心のケアも大切であるが、いじめられている側は命がかかっている。面子を捨て、大切な命を守るべく行動を起こそう。

(田口寿宜 記)

編集後記

「不納欠損」
23年度の一般会計決算が本会議に上程され審査に付されている。

市税、国保税合わせて約14500万円という多額の欠損金が現れた。

その内訳で一番大きいのは倒産、破産、死亡等の場合に適用される「即時欠損」で、7631万円である。不納欠損には他に「3年時効」と「5年時効」がある。

聞きなれない言葉と思うが、赤字決算ではよく使われる繰越欠損金等と表示される。この処理は毎年行われてきたが、合併後これだけ大きな欠損金は始めてである。

背景にはアメリカのリーマンショック以来の景気の底冷え、昨年の東日本大震災など一連の原因があり、今後がもつと心配である。

市の財政状況は依然として危機的状況にあると認識している。自主財源確保の観点からも税負担の公平性の見地からもこの制度については、資産状況を正確に把握した上で、の慎重な実施を望むものである。

もう一方で観光振興策を洗い直し、暮らしやすい街づくりのため不転転の覚悟で臨むことを期待する。

(八柳良太郎 記)